

(1) アンケートの概要

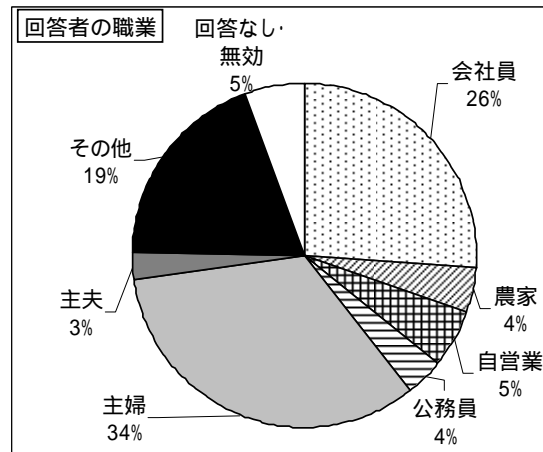
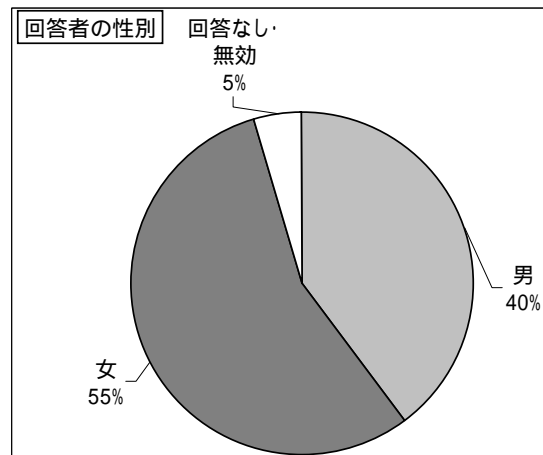
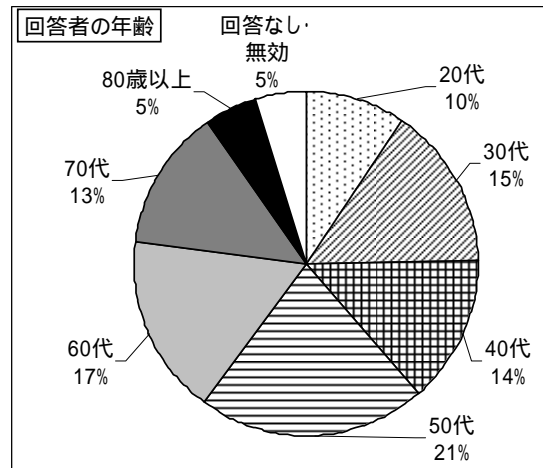
- アンケートの目的 : 身近な“水”に関する今の満足度・今後優先的に取り組むべきことや、“水”を良くするために市民として協力できることなどについて、市民がどのように感じているのかを把握するためにアンケートを実施した。
- アンケートの対象 : 岡崎市にお住まいの市民（無作為抽出 2000 名）
- アンケートの実施期間 : 平成 18 年 7 月中旬（〆切は 7/20）

(2) アンケートの回答状況

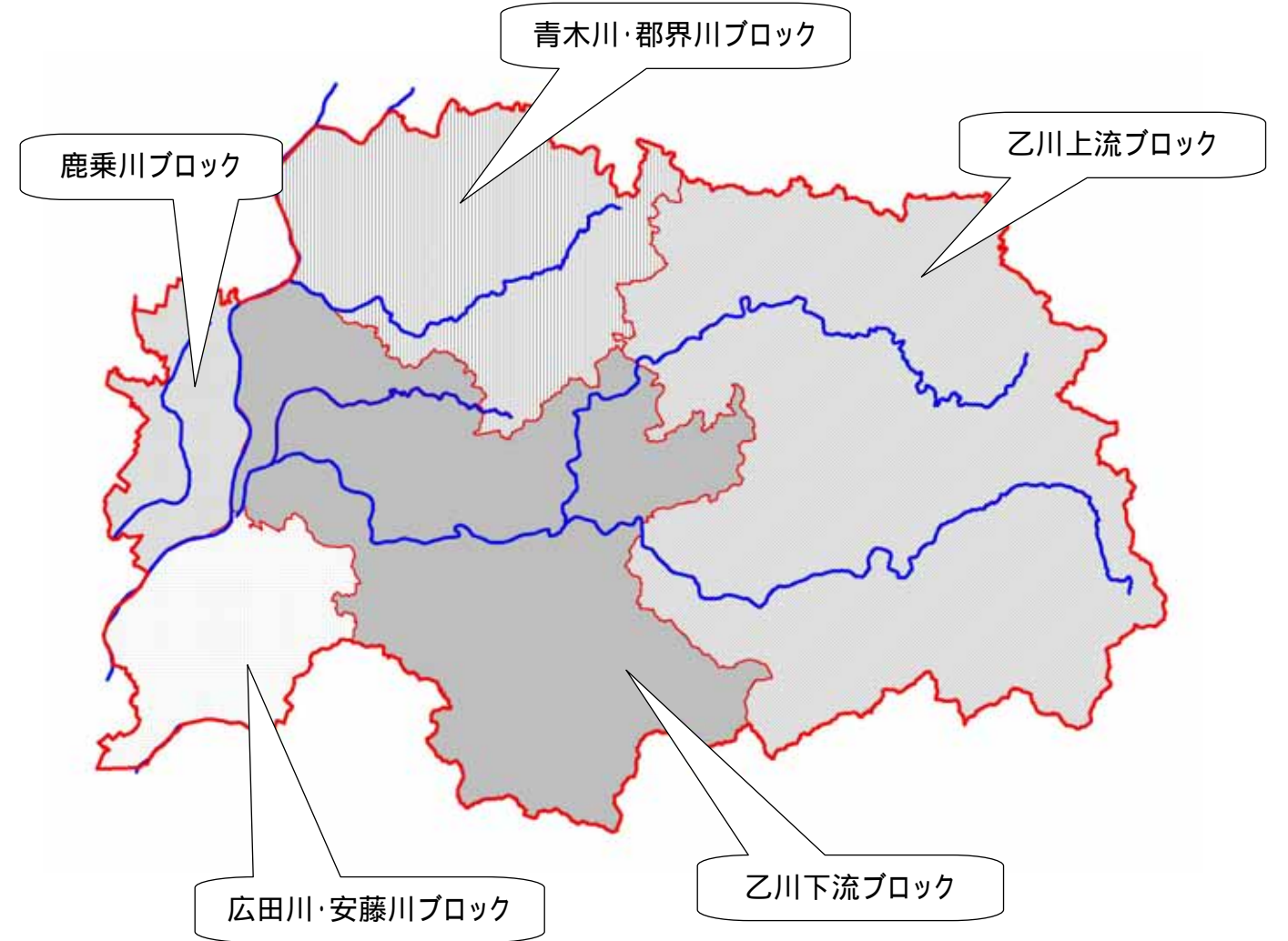
- アンケート回収率 : 31.9%（回答数 638 通、平成 18 年 9 月 13 日現在）
- アンケート有効回答数 : 567 通
- 回答者の属性について以下に示す。

- 20代から70代までの各年代から回答が得られている。
- 女性からの回答がやや多かった。
- 回答を頂いた方の中で主婦の占める割合が最も高く、次に会社員が多い。農家・自営業・公務員・主夫はそれぞれ約5%前後であった。

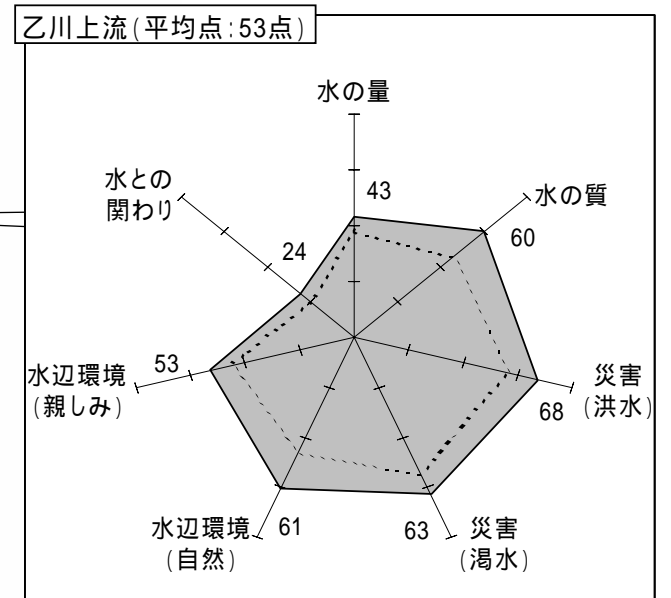
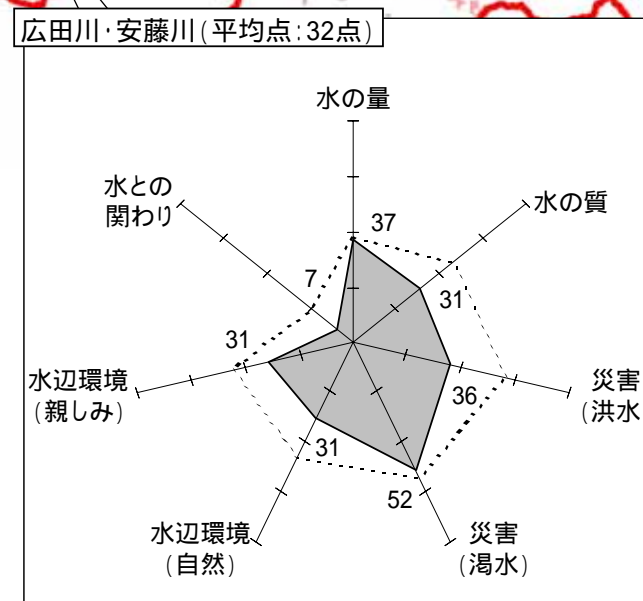
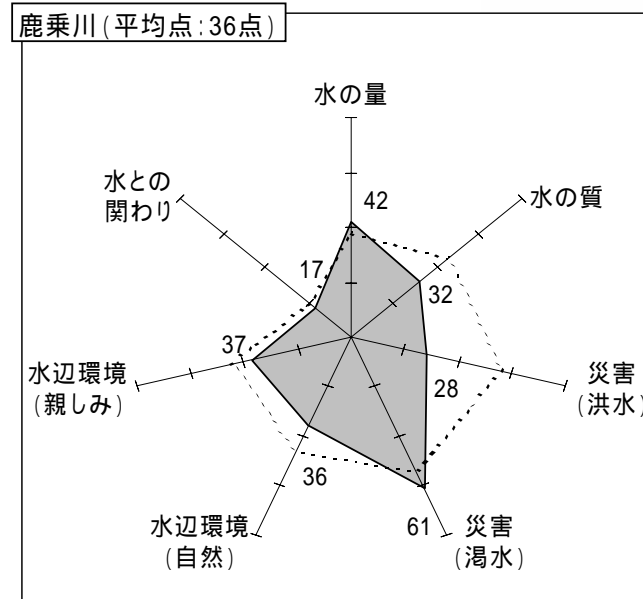
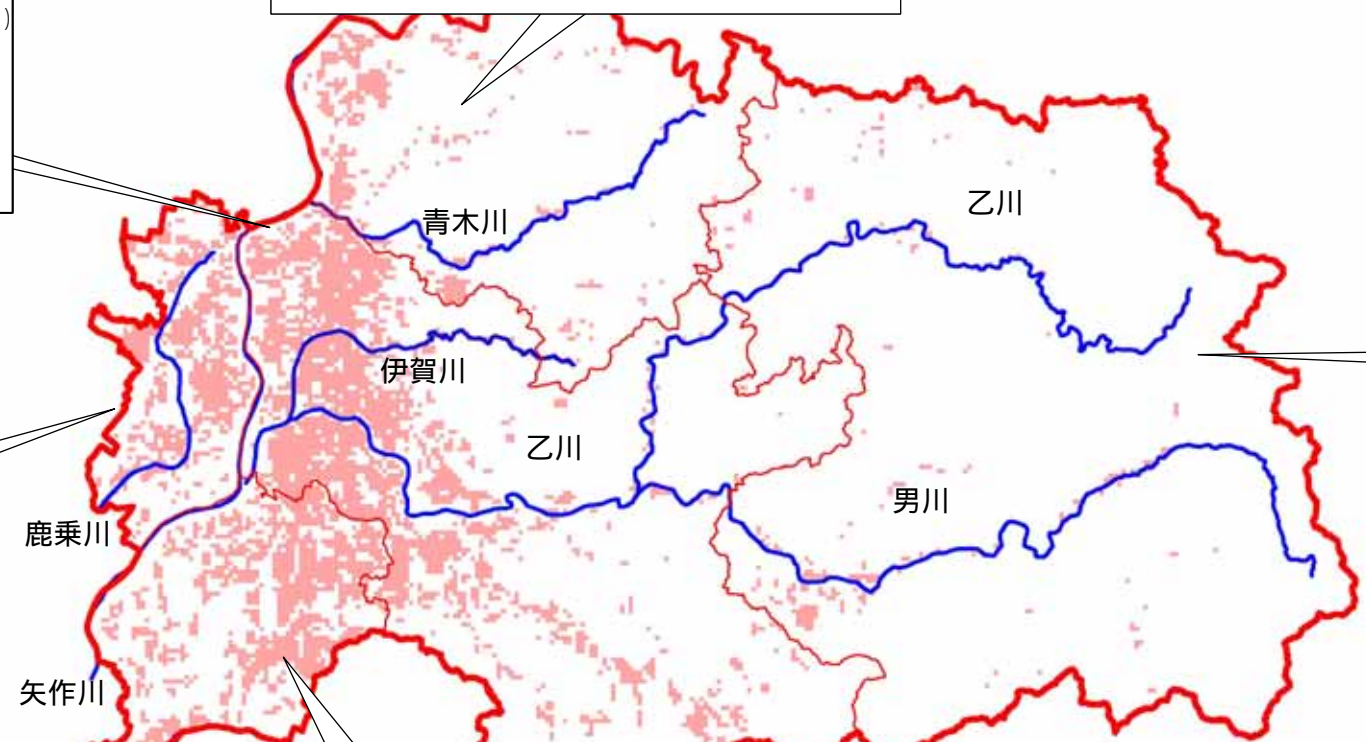
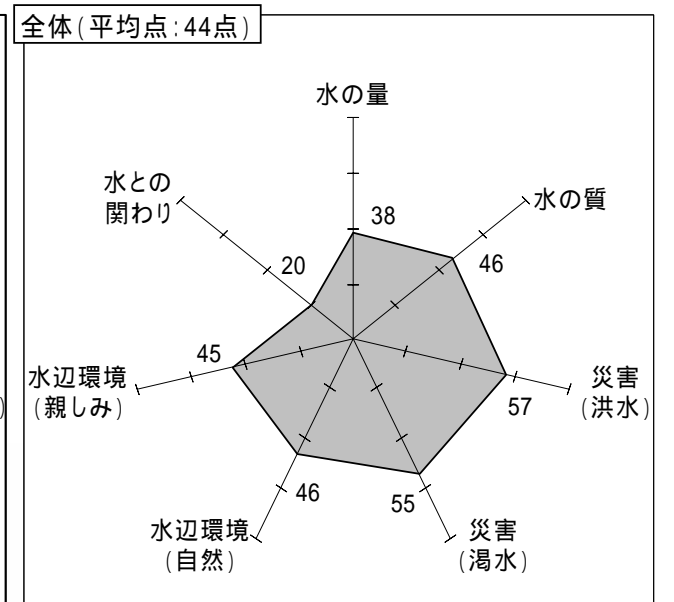
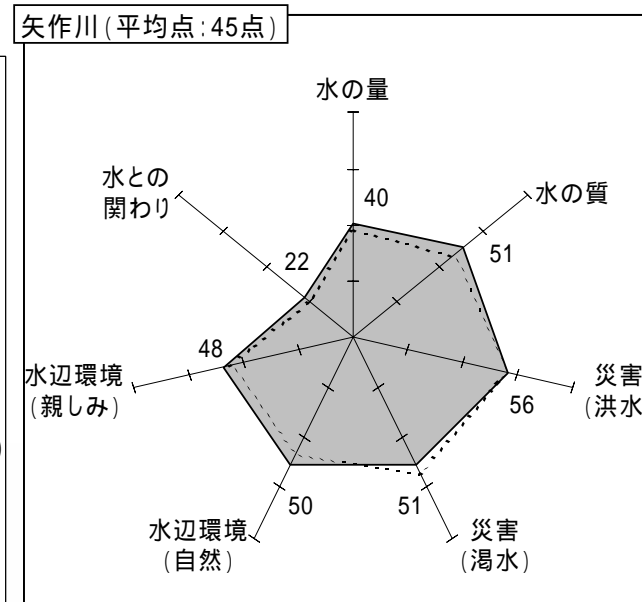
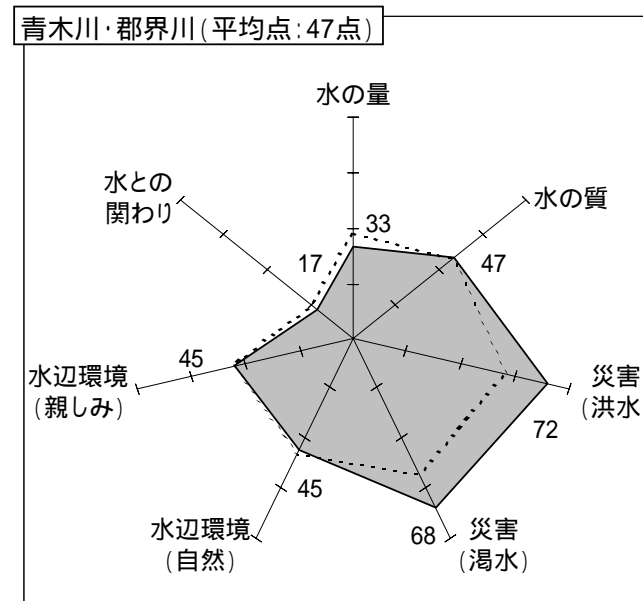
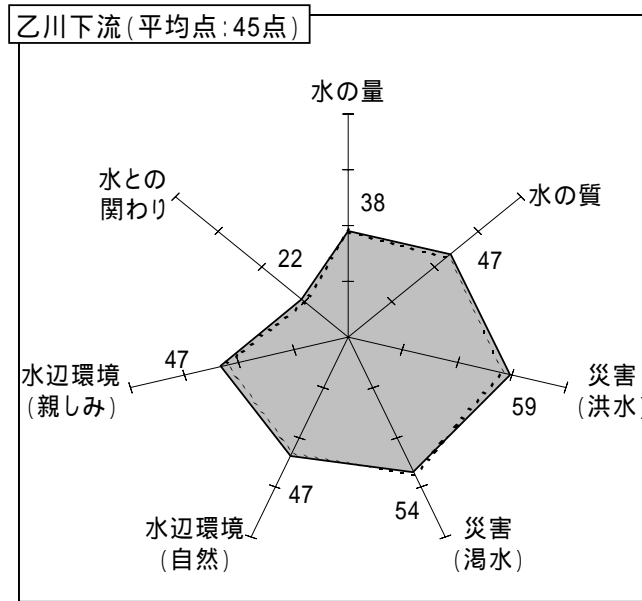
回答者属性		回答数
年代	20代	61
	30代	97
	40代	89
	50代	135
	60代	109
	70代	85
	80歳以上	32
	回答なし・無効	30
合計	638	
性別	男	254
	女	355
	回答なし・無効	29
	合計	638
職業	会社員	167
	農家	27
	自営業	34
	公務員	24
	主婦	212
	主夫	16
	その他	123
	回答なし・無効	35
合計	638	



(3) ブロック分割図



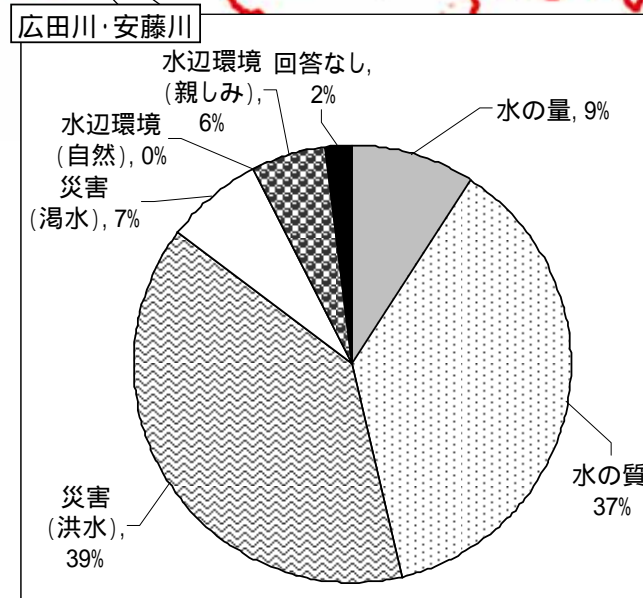
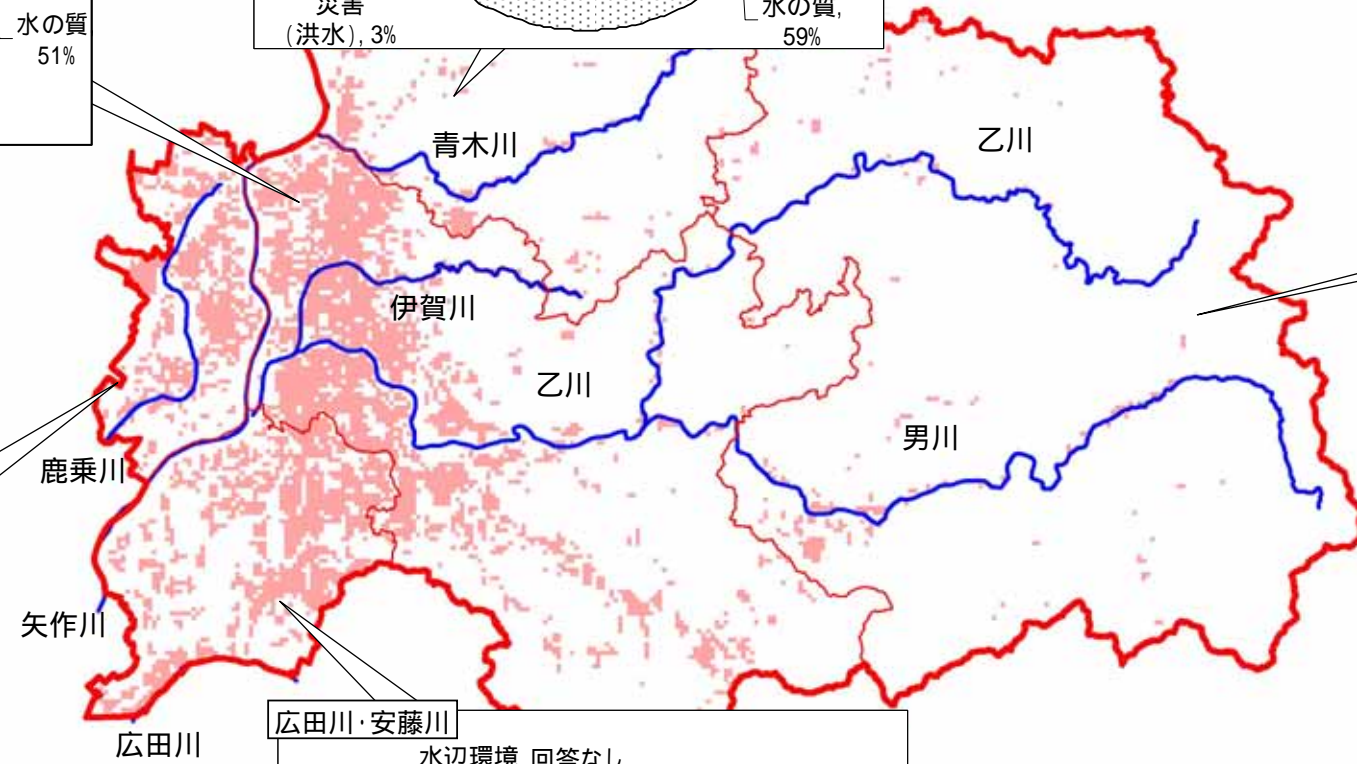
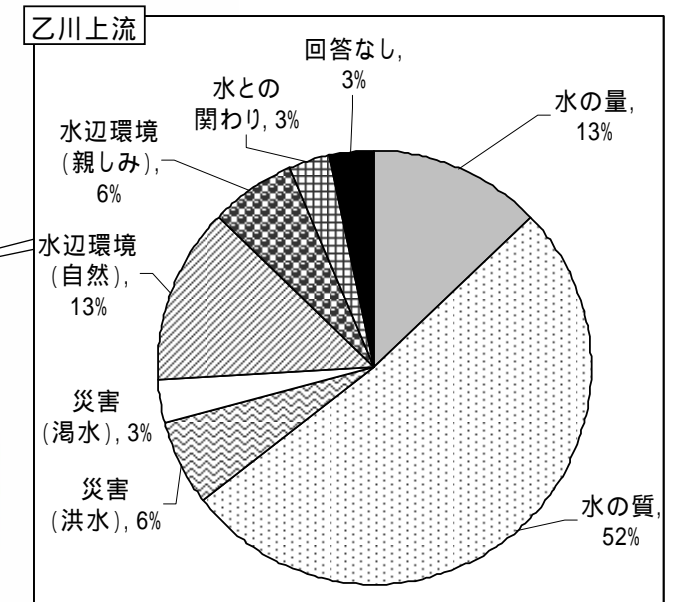
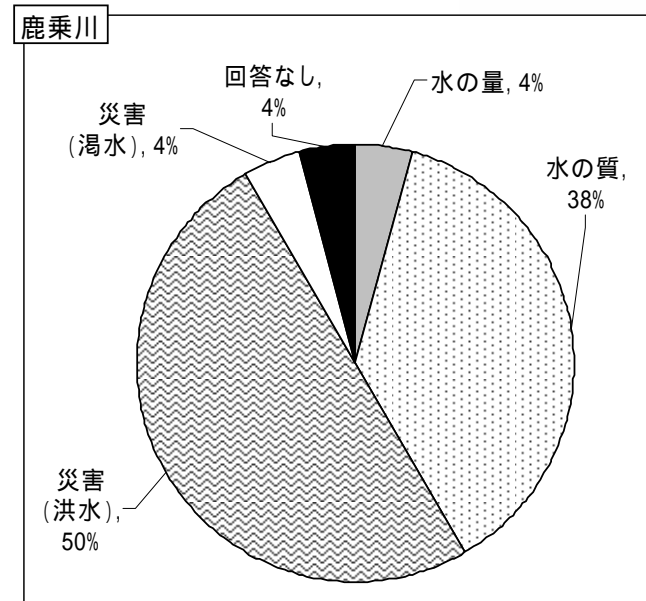
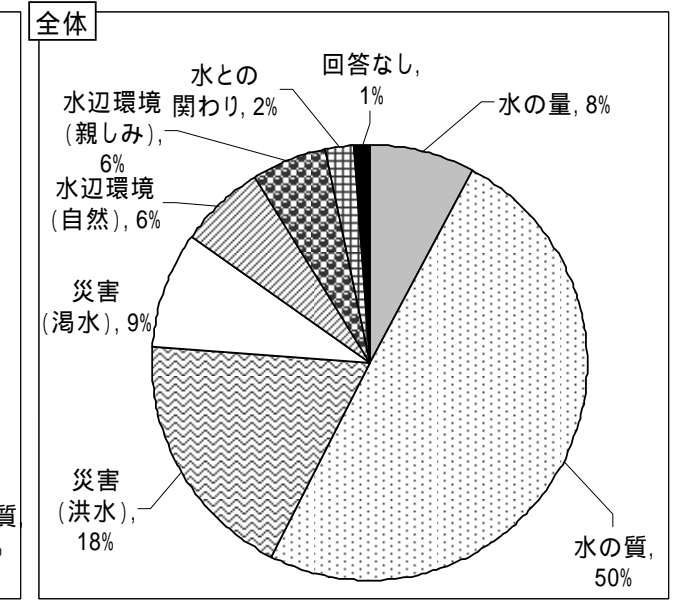
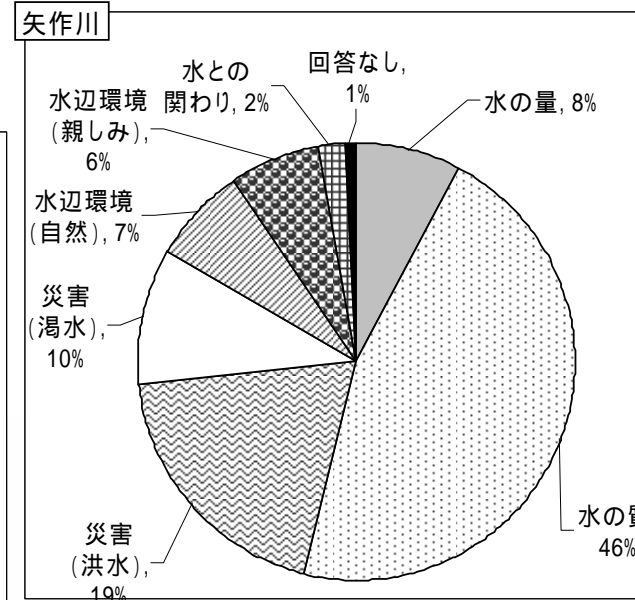
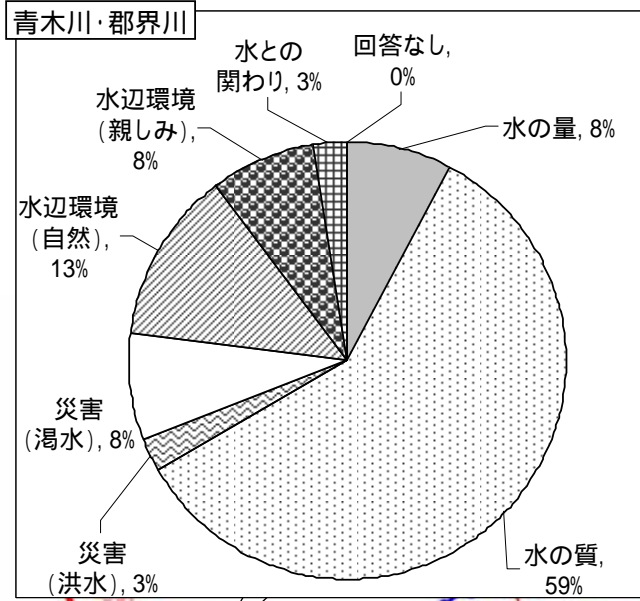
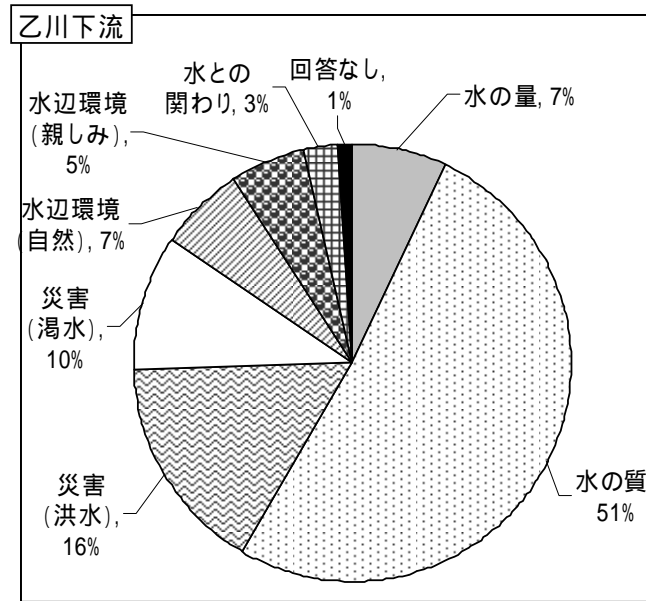
<質問1：身近な“水”に関することについての今の満足度>への回答



- ・ 全体的には、「災害(洪水・渇水)への満足度が高い。
- ・ 全体的には、「水との関わり」の満足度が目立って低く、次いで「水の量」の満足度が低い。
- ・ 平均点では、乙川上流ブロックのみ 50 ポイントを上回っている。
- ・ 乙川下流、青木川・郡界川、矢作川では全体と同傾向。
- ・ 乙川上流では全体と同傾向であるが、「水の質」、「水辺環境(自然・親しみ)」が 50 ポイントを上回る。
- ・ 広田川・安藤川、鹿乗川では「災害(渇水)」を除いて大きく満足度が低く、特に鹿乗川については「災害(洪水)」についての満足度が低い。

グラフの軸は最大値 80 ポイント。
各グラフ破線は全体の回答を表している。
5 段階評価で質問した満足度につき、全員が評価「5」の場合を 100、全員が評価「1」の場合を 0 としたときの点数。

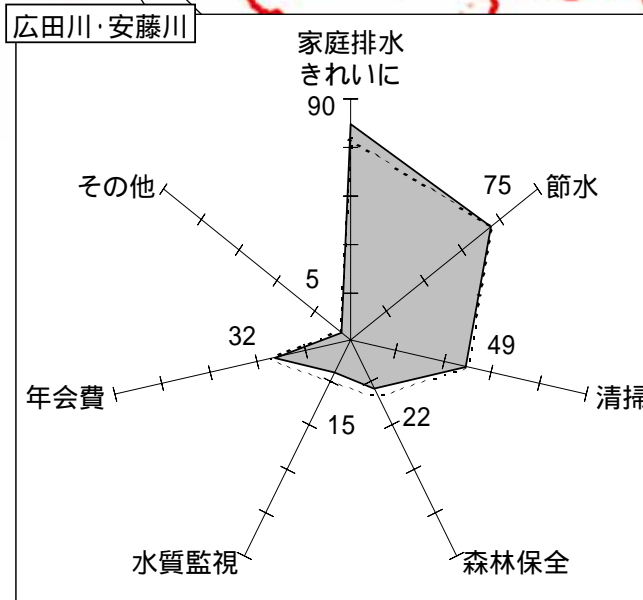
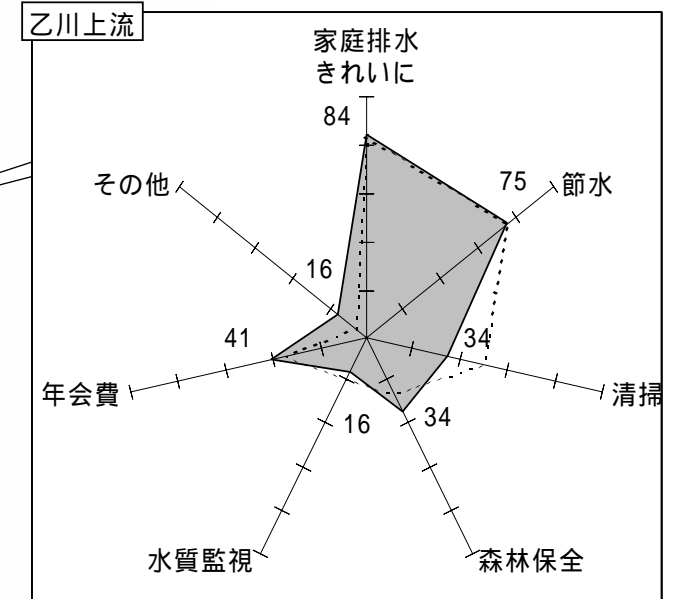
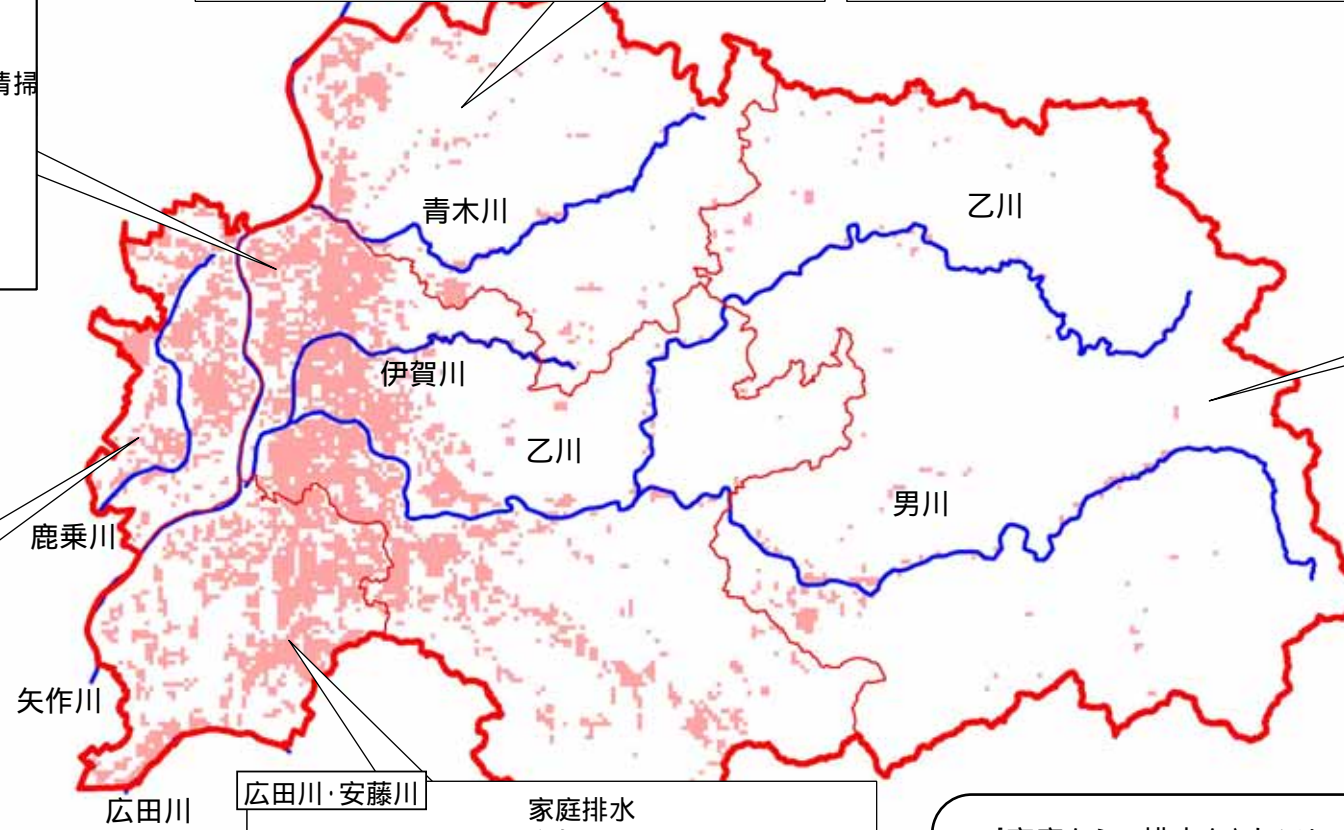
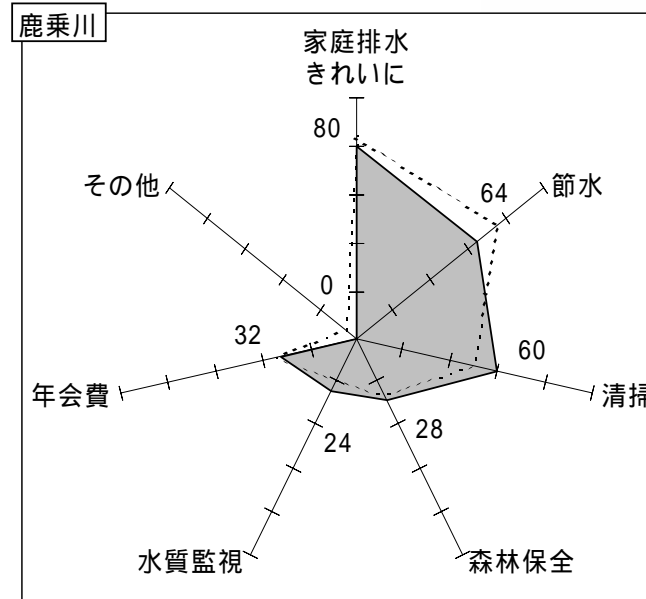
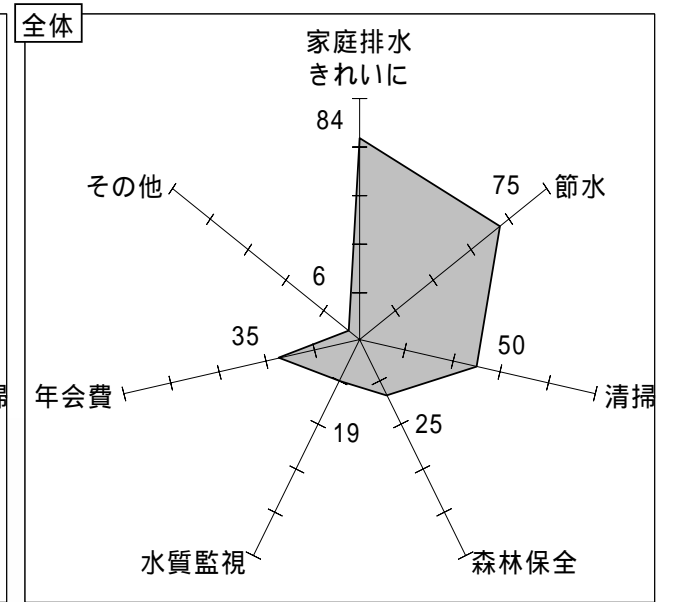
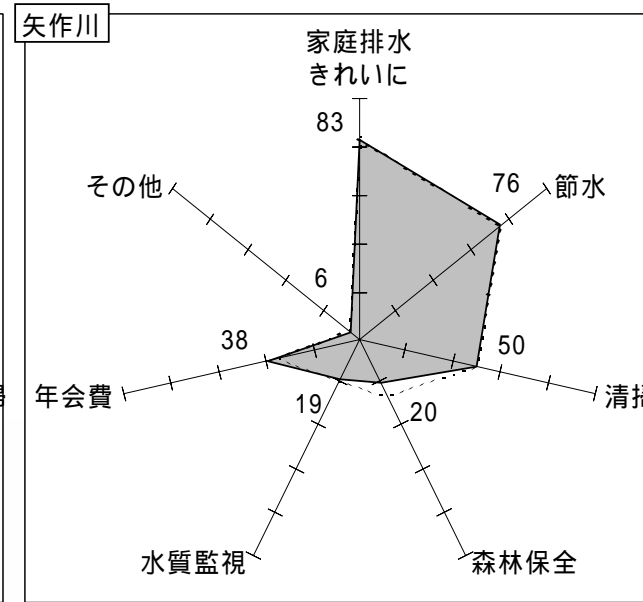
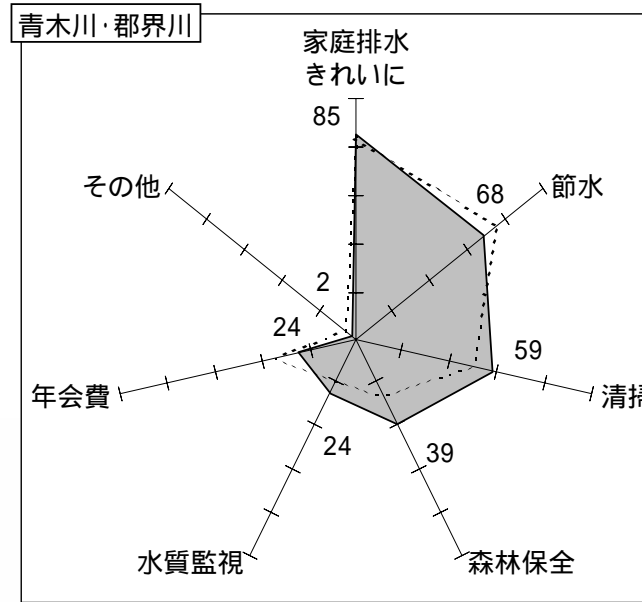
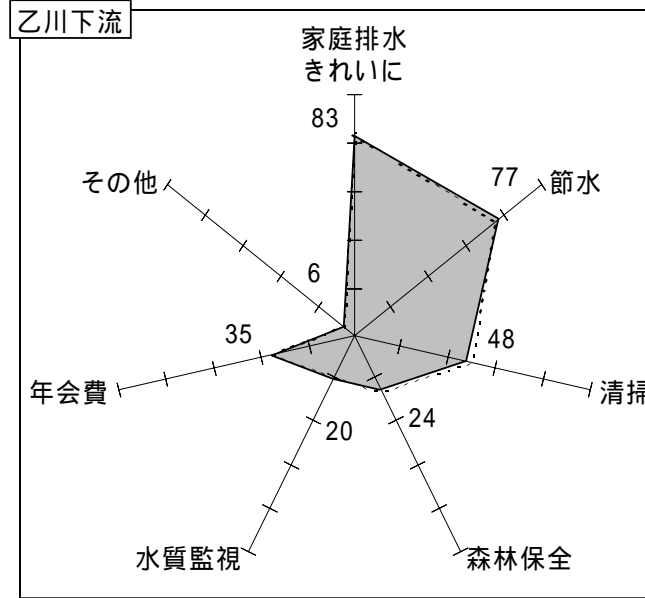
<質問2：身近な“水”に関することについて、今後優先的に取り組むべきこと>への回答



- ・ 全体的には、「水の質」への取り組みを最優先し、次いで「災害(洪水・湧水)」、「水の量」へ取り組むことが望まれている。
- ・ 乙川下流、矢作川では全体と同傾向。
- ・ 乙川上流では、「水の質」の次に「水の量」、「水辺環境(自然)」への取り組みが望まれている。
- ・ 青木川・郡界川では、「水の質」の次に、「水辺環境(自然)」への取り組みが望まれている。
- ・ 広田川・安藤川、鹿乗川では、「災害(洪水)」への取り組みを最優先し、次いで「水の質」へ取り組むことが望まれている。

今後優先的に取り組むべきとして回答された割合。

<質問3：市民として協力できること>への回答



- ・「家庭からの排水をきれいに」、「節水」については市民の協力を得られる可能性が高い。
- ・上記の他、乙川上流ブロック以外では「清掃」へ協力しても良いと回答された割合が高い。
- ・上記の他、乙川上流ブロックでは、水環境の全のために「年会費」を支払ってもよいと回答された割合が高い。

個々の家庭で取り組める「家庭からの排水をきれいに」、「節水」については協力を得られる可能性が高い。

その他の項目について市民からの協力を求めるには、水環境保全についての関心を高めることが必要と考えられる。

グラフの軸は、最大値 100%
 各グラフ破線は全体の回答を表している。
 回答者のうち、それぞれの項目について協力しても良いと答えた方の割合。
 ひとりにつき3項目回答。